

般若心経物語

○鷲峰山

釈尊(お釈迦さま)と大勢のお弟子たち。その中には空海さまも。

釈尊「さて、何か質問はないかな？」

一人が手を上げて釈尊を礼拝し質問。

弟子「先生、一切の迷いを覚まし苦しみを除くという、大般若(波羅蜜多)菩薩さまの秘密の合言葉
を教えてください」

釈尊、チラリと観自在菩薩(観音さま)に目くばせ。

苦しみの世界を観る時は観音さま、真実の世界を語る時は大般若(波羅蜜多)菩薩さま。

観自在菩薩「よござんす。ワタシ観自在菩薩が、お答えしましょう。その前にまず、この世のあらゆる苦しみをすべて舐め尽くして、解ったことがあるのでお伝えします。それは、この世界と身体は、四つの心から我々が作り上げた、大いなる幻だというお話です。これがわかると楽になりますよ」

四つの心とは、感覚・浅い心・深い心・潜在意識。四つの心のさかい目はなく実は一つの心の四つの働き。

観音さまは、質問したお弟子を優しく真摯に見つめ

観自在菩薩「ところでアナタは、どなたですか？」

お弟子は観音さまを、しっかりと見つめ直し

舍利子「お釈迦さまの弟子で舍利子と申します」

観自在菩薩「ではアナタに申し上げましょう。この世のあらゆる苦しみは幻なんですよ。あたかも本当にあるように見えるから幻なのです。そしてあらゆる出来事に偶然は一つも無いのです。四つの心から出来上がっている世界と身体は、意味と価値がある幻です」

釈尊や他の聴衆も黙って耳を傾けている。

観自在菩薩「だとすると、損得、好き嫌い、善悪、金持ちと貧乏人、善人と悪人、長生きと早や死に、健康と病気、満足と不満、愛と憎しみ、綺麗と汚い、喜怒哀楽などなど、およそ我々が目で見、耳で聞き、鼻で嗅ぎ、舌で味わい、肌に触れ、心で感じるあらゆる事がらは、意味と価値のある幻です」

舍利子さま、何ごとかに想いを巡らしている表情。

観自在菩薩「そう、我々は他と密接に絡み合いながら自ら作り出した、幻の世界、幻の人生を体験しているのです。しかもそれは、生れてから死ぬまでだけでなく、次の人生でも、前の人生でも永遠に続きます。なぜなら、この世界と人生には始まりも終わりも無いからです。人間は、苦しむ、なぜ苦しいんだろう？楽になりたい、どうすれば楽になるのか？悩んだあげく知り得たことながらも実は錯覚です」



舍利子「！」

釈尊が会座中の隅々、すべての聴衆に行き渡る、涼やかな懐かしい大音声で

釈尊「菩提薩埵！菩薩よ」

釈尊は舍利子さまに直接呼びかけられている。

一同、舍利子さまを注目。舍利子さまは驚きと歓喜で輝いている。

観自在菩薩さまが今は大般若菩薩さまとして語られる。

大般若菩薩「宇宙は意味と価値のある幻なんだということを、本当に理解しておられるアナタはすでに菩薩さまなのですよ！」

舍利子さま、素直に、しかも力強く肯く。

大般若菩薩さま、母親が我が子をあやすように優しく

大般若菩薩「菩薩の子は菩薩。母なる大般若菩薩さまを好きになり感謝すると、何があっても、ありがとうなんです。そうになると、もう怖いものなしです。モノの見方が百八十度変わります。そしてアナタの長い長い迷いの旅は終わるのです。過去現在未来のすべての仏さまを産み育ててきた、大般若菩薩さまが、今こそ秘密の合言葉、マントラをお授けしましょう。このマントラを唱えると、そこに母なる大般若波羅蜜多菩薩、ワタシが現われます。ワタシは、いつもアナタとともに在りますよ。ご一緒に、せーの！」

大般若菩薩さまと、今は菩薩としての自覚に目覚めた舍利子さまが、声を揃えて

二人「ガテー、ガテー、パーラガテー、パーラサンガテー、ボーデー、スヴァーハー」

大般若菩薩「この合言葉は何回も繰り返しお唱えしましょう。苦しみが終わり真実が現われる、お釈迦さまから直伝の大いなるマントラです。」

大般若菩薩さまが、静かにお釈迦さまに向き直る。

お釈迦さまは黙って微笑まれている。

大般若菩薩さまは聴衆みんなに向かつて

大般若菩薩「このマントラをどのように活用されるかはアナタの自由ですが、使えば必ずアナタの人生は明るく開けます。マントラとの新しい旅の始まりです。本当に不思議で偉大なマントラです。このマントラに代わる強力なマントラはありません。なぜならこのマントラをお唱えすることによって、あらゆるマントラがその真の力を発揮する、母なるマントラだからです。アナタとマントラとの出逢いを祝福します。幸いあれ！」

釈尊がマントラを静かに唱え始められる。それに連れて一人二人と合唱しだし、やがて、すべての菩薩さまによる大合唱が鷲峰山で始まり、いつまでも果てることなく響いている。

一同「ガテー、ガテー、パーラガテー、パーラサンガテー、ボーデー、スヴァーハー」♪

